

今治市市有林 J ークレジット可能性調査業務仕様書

本仕様書は、今治市（以下、委託者という。）が発注する「今治市市有林 J ークレジット可能性調査業務」の実施に関して、必要な事項を定めるものとする。

第 1 章 総 則

1 目的

本市では、市有林 3,338ha の内、人工林を主体に 2,203ha を管理しており、森林の有する生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供等の機能を高度に発揮できるよう、取組を推進している。この森林の多様な機能に着目し、本市における森林の CO₂ 吸収量をカーボンクレジットとして活用し、カーボンニュートラルの実現にむけて本市の役割を明確にするための基礎調査として本業務を実施する。

2 委託事業

今治市市有林 J ークレジット可能性調査業務

3 業務期間

本業務の業務期間は、契約締結日から令和 7 年 11 月 30 日までとする。

4 仕様書の適用

本業務は、本仕様書に従い行わなければならない。なお、本仕様書に定めないものであっても、業務に当然必要な事項は本業務に含むものとし、本業務の遂行にあたり疑義が生じた場合は本市と受託者の協議によるものとする。

5 業務管理

- (1) 受託者は、業務の円滑な進行が図るため、高度の専門知識と経験を有する技術者を派遣し、業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、常に本市と十分な協議を行い、業務や工事工程表に沿って遅滞なく、かつ業務に支障のないように業務を行うこと。

6 関係法令の遵守

受託者は、本業務の実施にあたり、関連する法令・規格・各種指針等を遵守

しなければならない。

7 成果品

- ・ 業務報告書 3 部
- ・ 上記電子データ一式

8 成果品の検査

業務において作成した成果品は、委託者の検査を受けこれに合格しなければならない。

9 その他

- (1) 業務の実施にあたり、疑義が生じた場合は、速やかに担当者と協議するものとする。
- (2) 成果品納入後であっても成果品に誤りがある場合は、直ちに修正するものとする。
- (3) 森林経営計画は、他の所有者との共同による策定についても可能とする。
- (4) 森林簿は、提案書を特定した者のみ公表する。
- (5) 業務期間の変更が生じる場合は、委託者と受託者が協議を行い、委託者の指示に従うものとする。

10 守秘義務

受託者は、業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

第2章 業務内容

1 市有林におけるカーボンクレジット創出対象地の選定

Jークレジット制度でのカーボンクレジットの創出を目指し、市有林において最もカーボンクレジットの創出に適した森林を選定すること。

なお、選定においては、候補となる森林については現地調査を行ったうえ、書類の整理を実施し、判断を行うものとする。

また、創出に適した森林の基準は、Jークレジット事業の継続性（Jークレジット対象期間（8～16年）及び永続性担保期間（10年））、森林経営計画の策定及び実行性、CO₂吸収量等とし、複数の林班での創出が可能と判断した場合は、市担当職員と打ち合わせのうえ、選定すること。

2 選定した森林でのカーボンクレジット収支シミュレーションの実施

Jークレジット制度によるカーボンクレジット創出、モニタリング、販売までの過程において、得られる収入およびかかる費用を「クレジット創出期間8年間、16年間」の2種類をシミュレーションすること。

シミュレーションの作成にあたっては「対象森林面積、対象森林の整備量（間伐量）、CO₂吸収量、販売単価、創出の周期」の要素を必須項目とし、数値変更等の柔軟な対応を可能とすること。

3 関係者との各種調整

Jークレジット事業への参画を想定している関係者との打ち合わせのうえ、事業の円滑な実施に向けた準備を行うこと。